

議事録

日 時	令和 4 年 12 月 9 日（金） 10：00～12：00	
場 所	河内長野市役所 5 階 501 会議室	
議 題	第 7 回河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	10 名(内 1 名 web にて出席)
	事務局（河内長野市政策企画課、 （株）ユーデーコンサルタンツ他）	7 名
資料等	第 6 回推進委員会議事録 【資料 1】募集要項（案） 【資料 2】評価基準（案） 【資料 3】様式集（案） 【資料 4】仕様書（案） 【資料 5】（仮称）南花台中央公園整備事業基本計画書（案） 【資料 6】（仮称）南花台中央公園整備計画についてのアンケート結果概要	
議 事	1. 開会 2. 案件 （1）基本・実施設計業務 公募型プロポーザル関係資料（案）について ・募集要項（案）【資料 1】、評価基準（案）【資料 2】、様式集（案）【資料 3】、仕様書（案）【資料 4】について説明 以下、推進委員会意見を記載 ●募集要項（案） ・各委員の専門分野名を確認し修正を行う。 ・応募者には、基本計画書に記載している基本的な考え方が実現でき、南花台のこれまでのまちづくりの経緯等を踏まえたうえで自由に提案してもらいたいため、そのような意思が伝わるような文言を追記する。 ●評価基準（案） ・評価項目は「提案されている」ことより、提案の内容を評価したいため、提案項目の小項目の文言を修正する。 ・「②市民との協働に関する考え方」については、方法を提案するのか、プロセスを提案するのかがわかりづらい。今回のプロポーザルでは、方法、プロセス、両方に対して提案を求めているため、そのような意思が伝わる表現に文言を修正する。 ●様式集（案） ・「様式 7-4⑥維持管理運営への配慮・コストマネジメントについての考え方、その他独自提案」は、配点が 10 点に対して、A 3 一枚で提案することとなっており、様式 7-1～3 の配点割合と比較すると提案スペースが大きい、独自提案は任意の提案内容を記載する項目であるため、A 3 のスペースを応募者に自由に使うもらえるよう A 3 とする。	

●仕様書（案）

- ・周辺歩道の街路樹は撤去の方針で記載する。再整備の方法については、応募者に自由に提案してもらうこととする。
- ・地盤レベル設定については細かく記載せず、基本計画書（案）を踏まえ、応募者に自由に提案してもらうこととする。
- ・大型遊具という表現をアスレチック遊具に統一する。景観に配慮し、地形を生かした遊べるスペースをつくることが前提であるため、必ずしも小さい子どもが遊ぶような遊具を置かなくてもいいということが伝わるような表現に変更する。

（２）基本計画書（案）について

- ・（仮称）南花台中央公園整備事業基本計画書（案）について説明【資料５】

以下、推進委員会意見を記載

- ・断面（２）の地盤レベルがわかりやすいよう文字の位置を修正する。
- ・１号線歩道とＢゾーン中央広場の間の地盤レベルを歩道から東側の園路まで緩やかに上がるよう修正する。
- ・公園周辺は、安全性確保のため柵の設置が想定されるが、歩道と公園の間は柵がなく一体的な空間とし、車道と歩道の間に柵を設ける方針とする。
- ・Ａゾーン、Ｂゾーン間の南花台１号線の中央付近に横断歩道を設けることに関しては、既存の横断歩道との距離が確保できず、設置が難しい。その代わりに公園、コノミヤ駐車場、UR 団地が接する南花台１号線北の交差点をスクランブル交差点に変更することや、南側の横断歩道の拡幅ができるよう協議を進める。
- ・基本計画の段階では、スタジアムのスピーカーによる音のシミュレーションを行っている。試合時の騒音については検証できていないため、運営していく中で、対応していく必要がある。また、基本・実施設計時にもシミュレーションを行いながら調整していく。

（３）（仮称）南花台中央公園整備計画についてのアンケート結果について

- ・（仮称）南花台中央公園整備計画についてのアンケート結果概要【資料６】について説明

●アンケートの取りまとめ方について

- ・住民説明会およびアンケートの概要を追記する。
- ・パーククルーの誤字を修正する。

●説明会等の今後の進め方、住民周知、公園づくりへのかかわり方について

- ・今回の説明会を受けて、今後住民にどのような説明を行っていくのか、次回のコノミヤ通信に記載する。
- ・今回の住民説明会の告知が直前であったため、もう少し早く出してほしい。
- ・Youtube などのライブ配信、アンケートの集計では LINE を取り入れるなど若い方も参加しやすい仕組みを検討する。
- ・パンフレットが出たことで、より公園のイメージがしやすくなった。説明回数を増やしたり、現地見学を再度行ったり等さらにイメージが膨らむ活動が必要。

- ・ 現地見学などを学校の行事に組み込んでもらうことで、多くの世代に知ってもらうきっかけになると考える。
- ・ 子どもたちに、公園へのかかわり方の提案をしてもらうことも協働で公園をつくっていくことにつながる。
- ・ 説明会や、ワークショップに参加している人が固定化されてきているが、その人たちが発信源となって、情報を広めていくことも期待できる。
- ・ パーククルーのメンバーを早めに集め、情報発信や意識の共有、設計をすすめるなかでのかかわり方等を検討してはどうか。
- ・ 小中一貫校で愛称を決める計画が進められている。今回の公園整備でも愛称を考えてもらうなど公園とのかかわりを持ってもらう機会をつくるのはどうか。

●その他

- ・ 第10公園の工事期間および、南花台中央公園がオープンするまでの約1年間子ども達の遊ぶ場所がなくなるので、対策を検討する必要がある。

(4) その他

- ・ 小中一貫校の改修に関して、道路沿いの植栽の取り扱いや、市民のかかわり方等委員の方から意見をいただいた。

3. 閉会

以上